

まちの話題



温かいもてなしの心や味に“がばい”感謝!!

旧南渓分校やその周辺で映画口ヶ

『島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん』の映画口ヶが、8月後半から9月初旬、旧南渓分校や笠原地区周辺で行われました。

口ヶ前から南渓いきいき協議会が中心となって、昭和30年代の雰囲気ある校舎に手を入れ、撮影日は、おにぎり、漬物、うどん、ジャムなど手作りの味で歓迎。学校の撮影では、南部小学校児童がエキストラで出演し、育友会が中心となって協力しました。

校内の授業や外観を背景にしたり、あぜ道を歩くシーンなどを撮影した島田監督は「鹿島、武雄、多久の県内だけのラインで撮影ができ、オール佐賀の映画ができた。来年1月末頃、福岡ヤフードームで先行上映し、お世話になった3市の物産展も実現させ、恩返しをしたい」と話され、地域をあげた撮影協力に感謝していました。

なお、旧南渓分校では、口ヶの写真展示が行われています。

◆南部小学校児童がエキストラで出演（上＝8月30日、1年生の教室シーン
下＝8月20日、真剣にスタッフの説明を受ける児童）

演劇や太鼓浮立などに大きな拍手

七郎神社祇園祭

七郎神社祇園祭が9月15日、西多久町社会体育館で開かれました。毎年、七郎神社境内で行われている秋まつりですが、雨のため体育館で、小学生によるラムネ早飲み、にこにこクラブ（西部小学校児童）による演劇「鶴の恩返し」などが披露され大勢の町民でにぎわいました。

西多久町太鼓浮立もあり、小学5・6年生の子供太鼓浮立と太鼓浮立保存会による浮立が演奏されました。五穀豊穣と無病息災を願う、たくましい音色と元気の良いかけ声が、体育館いっぱいに響き郷土の伝承芸能に町民から大きな拍手がおくられました。



▲ゆっくり味わってなんかいられません！（ラムネ早飲み）



▲社会福祉協議会の古賀正義会長に車椅子の引渡しをする多久パイロットクラブの木戸会長と役員のみなさん

障害のある方々へのご支援を

多久パイロットクラブから車椅子の寄贈

9月11日に「国際民間ボランティア団体 パイロット日本」の支部組織、「多久パイロットクラブ」の木戸直子会長はじめ役員のみなさんが、多久市社会福祉協議会を訪れ、身障者支援のために車椅子5台を寄贈されました。

パイロット日本は脳関連等の障害を持つ方々や、身障者福祉施設への奉仕活動を行っている団体で、会長は、「10月



26日に多久まつり会場でも、障害者への支援を呼びかける【パイロットウォーク】を予定しており、多くの方に参加していただき、支援を募りたい」と語られました。